

栃木県

1. 商品名等

商品名	ライトラインすいーとぼてと	
商品写真(イメージ等)		
商品説明(コンセプト等)	ライトレールの形に似たすいーとぼてとは、地元大谷石で熟成させた「ほっこり」と「紫芋」を混ぜ合わせることで、ライトレール車両の黒と黄色を表現しました。また、本校で栽培したかぼちゃを一部原料として使用することで、他の商品との差別化を図りました。さらに、パッケージの作製にあたっては、レジ袋を必要としないキャリー式箱を採用することで、SDGsに対応できるようにしました。幅広いお客様にご満足いただける商品です。	

2. 学校紹介

学校名	栃木県立宇都宮白楊高等学校	電 話	028-661-1525
住 所	栃木県宇都宮市元今泉8丁目2番1号	F A X	028-660-4540
担当者	金子安行	高岩恵美	
U R L	http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyahakuyo.nc2/		
E-mail	hakuyo@tochigi-edu.ed.jp		
<p>明治28年に創設され、今年で129年目を迎えた、歴史と伝統のある総合選択制専門高校です。農業系学科の農業経営科、生物工学科、食品科学科、農業工学科、工業系学科の情報技術科、商業系学科の流通経済科、家庭系学科の服飾デザイン科の7学科が設置されています。また本校は、栃木県宇都宮市にあり、JR宇都宮駅から近いにもかかわらず、東京ドーム2個分の敷地を有し、緑生い茂る教育環境に恵まれた学校です。放課後には、部活動や専門科目の研究、あるいは地域交流活動などに積極的に取り組んでおり、活気が満ち溢れ、学びたいが学べる、魅力ある学校です。</p>			

3. 実施科目等

科 目 名	課題研究、マーケティング、商業部	単 位 数	課題研究3単位 マーケティング2単位
対 象 生 徒	流通経済科	担当教員数	2名

4. 予算関係(費用)

ライトラインすいーとぼてとの開発資金を調達するために宇都宮市役所環境部環境創造課が主催する「みやの環境創造 提案・実践事業」に応募しました。この事業は環境をテーマにしており、私たちの商品のパッケージがプラスチックごみの削減につながる点をプレゼンテーションしました。審査の結果、宇都宮市から、「包装に紙を使うことで環境に配慮されている点」が評価され採択されました。

5. 開発経緯等

令和5年8月26日に宇都宮市を東西に貫く新交通システム路線、宇都宮芳賀ライトレール線（以下、ライトレール）が宇都宮市東部を先行して開業運行を始め、宇都宮東部地区の交通環境が大きく変化し、私たちの学校も、生徒の通学方法の選択肢が増えより便利になりました。私たち流通経済科商業部は、令和5年12月に、宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科長田哲平ゼミナールが主催する勉強会「都市を変える交通システムのデザイン」に参加し、ライトレールの現状と課題について学習したことをきっかけに、仮説を立てました。その仮説を立証する方法を探るために、具体的に取り組む事柄として以下の2つを考案しました。

1. 白楊高校をライトレールの観光地のひとつとしてPRする。
2. 白楊高校の特色を活かし、学科横断的なライトレール関連商品を開発販売する。

ライトレール東宇都宮停留場、JR宇都宮駅ビルの土産物店において、商品調査をおこない、現在販売されている商品には、ライトレールの形をした食品が無いことに気づきました。調査の結果を踏まえ、ライトレール関連商品について精査するため、宇都宮ライトレール（株）を訪問し協議を経て、ライトレール形の菓子を開発することに決定しました。また、（株）若山商店様が販売している商品「すいとぽてと」の形が、ライトレールに似ていることに気づき、ライトレールを模したスイートポテトの製造を提案しました。また、本校で栽培したかぼちゃを、一部原料に使用したスイートポテトの開発が可能であると回答をいただいたので、農業経営科でかぼちゃの栽培を始めました。そして、農業経営科の生徒と一緒に（株）若山商店石那田工場を訪問し、ライトレール菓子試作に立ち会いました。パッケージの作製にあたっては、レジ袋を必要としないキャリー式箱、キャリー式袋を採用することで、SDGsに対応することも取り入れました。デザインは私たちが考えた原案をもとに完成しました。

6. 販売形態・期間

⑦	<ul style="list-style-type: none">・全国産業教育フェア・学校祭・株式会社若山商店・株式会社カンセキ	<ul style="list-style-type: none">・とちびより（JR宇都宮駅構内）・おいでよとちぎ館（栃木県庁1階）・東武百貨店宇都宮	等
---	---	--	---

7. 協力者等

⑦	<ul style="list-style-type: none">・株式会社若山商店・宇都宮ライトレール株式会社・レオン自動機株式会社・宇都宮市役所	<ul style="list-style-type: none">・栃木県教育委員会・栃木県産業労働観光部産業政策課・栃木県産業振興センター・フードバレーとちぎ推進協議会	等
---	--	---	---

8. 商標登録の有無

⑧

9. 今後の課題・展望等

今後の課題のひとつは、「白楊高校がライトレールで観光化を目指す」というテーマのもと、本校の全7学科が協働して事業をおこなうことです。それぞれの学科の特性や有する知識を活用した役割分担で、このプロジェクトを進めていきます。また、私たちが心を込めて開発したすいとぽてとを多くの方々にお届けするために、既存の店舗販売に加え、オンライン販売や地域のイベント等様々な販売チャネルを活用し、多角的に販路を拡大していきたいです。